# 取扱説明書

# DuraVision®
# MDS1901
## カラー液晶モニター

**重要**

**ご使用前には必ずこの取扱説明書およびセットアップマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。**

- モニターの設置 / 接続については、セットアップマニュアルを参照してください。
- 取扱説明書を含む最新の製品情報は、当社のWebサイトから確認できます。
  www.eizo.co.jp

製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域に合った言語の取扱説明書をご確認ください。

1. 本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4. この製品の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

# この製品について

## 使用について

- この製品は、船舶の海図表示システム、レーダー表示用、または機関監視用用途などでの使用を意図しています。
- 次のような極めて高い信頼性、安全性が必要とされる用途への使用は意図しておりませんので、これらの用途には使用しないでください。
  - 防災防犯装置など各種安全装置
  - 生命に直接関わる装置（生命維持装置や手術室用機器など医療用装置）
  - 原子力制御機器（原子力制御システム、原子力施設の安全保護系システムなど）
- 本書に記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。
- 本書に定められている仕様は、付属の電源コードおよび当社が指定する信号ケーブル使用時にのみ適用いたします。
- この製品には、当社別売オプション品または当社が指定する製品をお使いください。

## 液晶パネルについて

- モニターの表示が安定するまでに、約30分（当社測定条件による）かかります。モニターの調整は電源を入れて30分以上経過するまでお待ちください。
- 長時間使用することによる画面品位の劣化を抑え、長くご使用いただくには、ブリリアンスを下げて使用することをお勧めします。
- 同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として残ることがあります。長時間同じ画像を表示するようなときには、コンピュータのスクリーンセーバーまたはスリープ機能を使用してください。表示する画像によっては、短い時間でも残像が残ることがあります。その場合、画像を変更したり、数時間電源を切った状態にすると、解消されることがあります。
- 表示状態を長時間続けると、表示面にシミやムラ、焼き付きが発生する場合がありますのでご注意ください。モニターを長くお使いいただくため、定期的にモニターの電源をオフにすることをお勧めします。
- 液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素が見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。なお、有効ドット数の割合は99.9994 %以上です。
- 液晶パネルに使用されるバックライトには寿命があります。長時間連続使用など、ご使用状態によっては、バックライトの寿命が早まり、交換が必要となる場合があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、お客様ご相談窓口にお問い合わせください。
- 液晶パネルを固い物や先のとがった物などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷が付く恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

- （タッチパネル使用時の注意事項）
  次の点に注意してください。故障の原因となります。
  – タッチパネルを強く押したり、こすったり、突いたりしないでください。
  – ボールペンや金属類などの硬い物でタッチパネルをタッチしないでください。

## 設置について

- この製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたり、温度が低い部屋から高い部屋に移動したりすると、製品の表面や内部に結露が生じることがあります。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

## クリーニング

- この製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをお勧めします。
- 製品に付いた汚れは、少量の水や、水で薄めた中性洗剤をしめらせた柔らかい布を使って、やさしく拭き取ってください。

**注意点**

- シンナー、ベンジン、ワックス、研磨クリーナは、製品をいためるため絶対に使用しないでください。
- 消毒のためにアルコールなどの薬品を使用すると、ひび割れ、光沢の変化、変色、色あせ、表示画質の劣化などにつながる恐れがあります。ご使用の際は次の点に注意してください。
  – 製品に薬品を直接吹き付けないでください。
  – 薬液含浸済のウエットワイパー類は液量が多いことがありますので使用をお控えください。
  – 製品の隙間や内部に薬品が入らないようにしてください。
- クリーニングおよび消毒の詳細は、当社Webサイトをご確認ください。
  確認方法：www.eizo.co.jpにアクセスし、サイト内検索ボックスに「消毒」と入力して検索

## モニターを快適にご使用いただくために

- 画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響をおよぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。
- 長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1時間に約10分の休憩を取ってください。
- 画面は、適切な距離および角度でご覧ください。

# 目次

**この製品について** ..... **3**
使用について ..... 3
液晶パネルについて ..... 3
設置について ..... 4
クリーニング ..... 4
モニターを快適にご使用いただくために ..... 4

**1 はじめに** ..... **7**
1.1 特長 ..... 7

**2 基本の調整 / 設定** ..... **8**
2.1 タッチパネルの有効 / 無効を設定する（タッチパネル搭載モデルのみ） ..... 8
2.2 タッチ感度を調整する（タッチパネル搭載モデルのみ） ..... 8
2.3 明るさを調整する ..... 8

**3 詳細な調整 / 設定** ..... **9**
3.1 設定メニューの基本操作方法 ..... 9
3.2 設定メニューの各機能 ..... 10
3.2.1 カラー調整 ..... 10
3.2.2 信号設定 ..... 13
3.2.3 本体設定 ..... 16
3.2.4 言語選択 ..... 17
3.2.5 インフォメーション ..... 17

**4 管理者向け設定** ..... **18**
4.1 「管理者設定」メニューの基本操作方法 ..... 18
4.2 「管理者設定」メニューの各機能 ..... 19

**5 こんなときは** ..... **21**
5.1 画面が表示されない場合 ..... 21
5.2 画面に関する症状（デジタル、アナログ共通） ..... 22
5.3 画面に関する症状（アナログのみ） ..... 23
5.4 タッチパネルに関する症状（タッチパネル搭載モデルのみ） ..... 24
5.5 その他の症状 ..... 26

**6 メンテナンス** ..... **27**
6.1 ブザー警告音の定期確認 ..... 27

**7 ご参考に** ..... **28**
7.1 仕様 ..... 28
7.1.1 液晶パネル ..... 28
7.1.2 保護ガラス（タッチパネル非搭載モデル） ..... 28
7.1.3 タッチパネル（タッチパネル搭載モデル） ..... 28
7.1.4 映像信号 ..... 29
7.1.5 通信 ..... 29

7.1.6 電源 ..... 29
7.1.7 機構 ..... 29
7.1.8 動作環境条件 ..... 30
7.1.9 輸送 / 保存環境条件 ..... 30
7.1.10 視距離 ..... 30
7.1.11 保護構造 ..... 30
7.2 主な初期設定値 ..... 31
7.3 対応解像度 ..... 31

**付録 ..... 32**
商標 ..... 32
ライセンス ..... 32
試験規格 ..... 33
船級型式承認 ..... 33
その他規格 ..... 33

**アフターサービス ..... 34**
製品に関するお問い合わせ ..... 34
修理に関するお問い合わせ ..... 34
製品回収、リサイクルシステムについて ..... 34

# 1 はじめに

このたびは当社カラー液晶モニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

## 1.1 特長

- 19.0型画面
- 解像度1280×1024対応
- 広視野角パネル採用
- 10点マルチタッチ対応（タッチパネル搭載モデルのみ）
- マルチタッチによる拡大 / 縮小、回転などの操作が可能
  画面に軽く触れるだけで反応するため、フリックやドラッグ操作も快適です。
- オプティカルボンディング※1により、高い視認性と画面強度の向上を実現
- 低輝度までの調光を実現
  また、バックライトを消灯させるモードも搭載しました。
  （調整メニューの「ブリリアンス」を下限値にしたときの状態を設定できます。）
  （バックライト・オフモード [P. 20]参照。）
- モニターのフロントボタンが点灯
  暗い環境でもモニターの操作ができるよう、フロントボタン（操作ボタン）が緑色に光ります。光の明るさを調整することもできます。
  （ランプ輝度 [P. 16]参照。）
- 警報ブザーを搭載
  システム側から制御します。
- AC / DC電源を搭載
  AC電源入力およびDC電源入力を搭載し、多様な設置環境への導入に対応します。また、両方の電源に接続しておくことで、AC電源の異常時のバックアップとしても利用できます。（両方に接続した場合は、AC電源が優先して動作します。）
- 著作権保護技術HDCP対応
- 船級の型式承認
  この装置は、次の船級の型式承認を取得予定です。
  – NK（日本海事協会）
  – DNV（ノルウェー船級協会）
  – ABS（アメリカ船級協会）
  – LR（ロイド船級協会）
  船級の取得状況については、当社Webサイトでご確認ください。
  （www.eizo.co.jp）
- 舶用規格
  この製品は、IEC60945 4thに準拠しています。

※1 液晶パネルとクリアパネルの隙間（空気層）を樹脂で埋めて貼り合わせる技術です。

# 2 基本の調整 / 設定

この章では、モニター前面のスイッチを押すことで調整 / 設定できる基本の機能を説明します。
設定メニューを使って詳細に調整 / 設定する方法については、3 詳細な調整 / 設定 [P. 9]を参照してください。

## 2.1 タッチパネルの有効 / 無効を設定する（タッチパネル搭載モデルのみ）

タッチパネルの有効 / 無効を切り替えることができます。一時的にタッチパネル機能を無効にしたい場合などに利用できます。

1. ⏻を押すたびにタッチパネルの有効 / 無効が切り替わります。
   タッチパネルの状態を示す画面が画面右下に表示されます。

## 2.2 タッチ感度を調整する（タッチパネル搭載モデルのみ）

タッチ感度の調整（キャリブレーション）をおこなうことができます。タッチ操作に問題がある場合に調整できます。

1. ⏻を長押しします。
   タッチ感度が調整されます。調整中は画面右下にメッセージが表示されます。

| **参考** |
| --- |
| • モニターの設置後にTPOffsetを必ず実行してください。<br>• タッチ感度の調整をおこなっても問題が改善しない場合はTPOffsetを実行してください。<br>TPOffsetは当社のWebサイト（www.eizo.co.jp）からダウンロードすることができます。 |

## 2.3 明るさを調整する

設定値：「0%」～「100%」
設置環境やお好みに合わせて、画面の明るさを調整できます。
バックライト（液晶パネル背面の光源）の明るさを変化させて、画面の明るさを調整します。

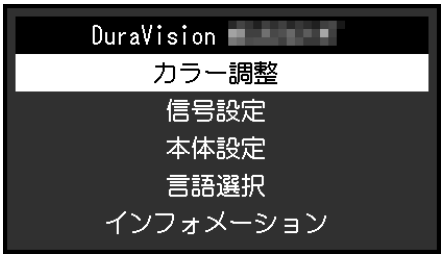
1. ◀または▶を押します。
   ブリリアンス調整画面が表示されます。
2. ◀または▶で設定します。
3. 設定が完了したら●を押します。

# 3 詳細な調整 / 設定

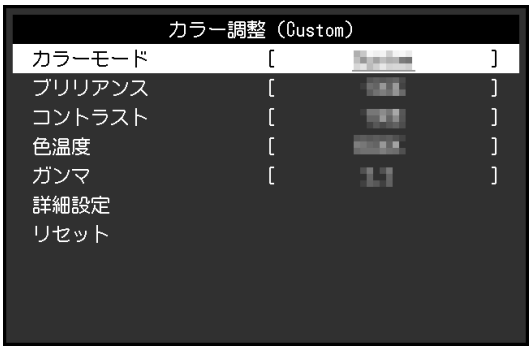
この章では、設定メニューを使ってモニターを詳細に調整 / 設定する方法を説明します。
基本的な機能については、2 基本の調整 / 設定 [P. 8]を参照してください。

## 3.1 設定メニューの基本操作方法

1. ◉を押します。
   設定メニューが表示されます。




2. ◀ ▶で、調整 / 設定したいメニューを選択し、◉を押します。
   サブメニューが表示されます。




3. ◀ ▶で、調整 / 設定したいメニューを選択し、◉を押します。
   調整 / 設定メニューが表示されます。

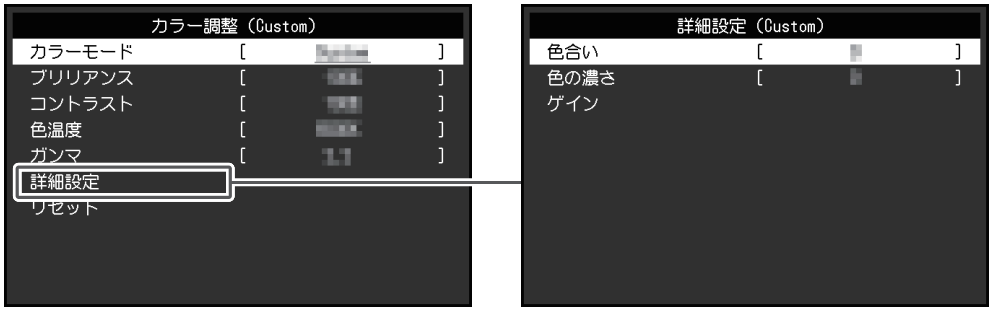



4. ◀ ▶で、調整 / 設定し、◉を押して確定します。
5. ⮌を数回押すと、メニューを終了します。

## 3.2 設定メニューの各機能

### 3.2.1 カラー調整

カラーモードの設定状態を、お好みに合わせて調整できます。調整した設定状態はカラーモードごとに保存されます。




調整できる機能は、カラーモードにより異なります。

○：調整可、－：調整不可

| 機能 | | カラーモード | |
|---|---|---|---|
| | | Custom | Day<br>Dusk<br>Night |
| ブリリアンス | | ○ | ○ |
| コントラスト | | ○ | － |
| 色温度 | | ○ | － |
| ガンマ | | ○ | － |
| 詳細設定 | 色合い | ○ | － |
| | 色の濃さ | ○ | － |
| | ゲイン | ○ | － |
| リセット | | ○ | ○ |

**注意点**

- モニターの表示が安定するまでに、約30分かかります。モニターの調整は電源を入れて30分以上経過するまでお待ちください。
- モニターにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色味を近づけるには、次の手順で調整してください。
  1. それぞれのモニターに白い画面を表示する。
  2. いずれか1台のモニターを基準に視覚的に判断しながら、「ブリリアンス」「色温度」「ゲイン」を微調整する。

**カラーモード**

設定値：「Custom」 / 「Day」 / 「Dusk」 / 「Night」

表示モードを切り替えます。

ECDIS規格に準拠した3つのモード（Day、Dusk、Night）と、お好みに応じた設定ができるモード（Custom）があります。

**ブリリアンス**

設定値：「0%」～「100%」

バックライト（液晶パネル背面の光源）の明るさを変化させて、画面の明るさを調整します。

**参考**

- 「%」表示は調整の目安としてご利用ください。
- 0%は、「Backlight Off Mode」が「On」の場合のみ設定できます。
- 直接◀または▶を押して設定することもできます（2.3 明るさを調整する [P. 8]参照）。
- ◀または▶を長押してブリリアンスを調整している際、初期設定値に達すると、調整を止めます。再度◀または▶を押すと調整を続けることができます（「ECDIS インジケータ」：「オン」、「カラーモード」：「Day」、「Dusk」、「Night」時）。

**注意点**

- 初期設定以外の値に変更すると、ECDIS規格に準拠した表示ができなくなります。

**コントラスト**

設定値：「0%」～「100%」

画面の明るい部分と暗い部分との明暗の差を調整します。

**参考**

- 「%」表示は調整の目安としてご利用ください。
- コントラストが100%のとき、すべての色階調が表示できます。

**色温度**

設定値：「Native」 / 「4000K」～「10000K」（500K単位、9300K含む） / 「User」

色温度を調整します。

通常「白」または「黒」の色合いを数値的に表現するときに用いられるもので、K：Kelvin（ケルビン）という単位で表します。

炎の温度と同様に、画面は色温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。また、色温度の設定値ごとにゲインのプリセット値が設定されています。

**参考**

- 「K」表示は調整の目安としてご利用ください。
- 「ゲイン」でさらに詳細な調整が可能です（詳細設定 - ゲイン [P. 12]参照）。
- 「Native」で液晶パネル本来の色（ゲインの値はRGB各100）になります。
- ゲインの値を変更すると、色温度は「User」になります。

**ガンマ**

設定値：「1.8」 / 「2.0」 / 「2.2」 / 「2.4」 / 「2.6」

ガンマ値を調整します。

モニターは入力信号のビデオレベルによって明るさが変化しますが、この変化率は入力信号と単純な比例関係にありません。そのため入力信号と明るさの関係が一定の関係になるよう制御をおこなうことをガンマ補正といいます。

**詳細設定 - 色合い**

設定値：「-100」～「100」

色合いを調整します。

| **参考** |
| --- |
| • この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。 |

**詳細設定 - 色の濃さ**

設定値：「-100」～「100」

色の濃さを調整します。

| **参考** |
| --- |
| • この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。<br>• 最小値（-100）で白黒の画面となります。 |

**詳細設定 - ゲイン**

設定値：「0%」～「100%」

色を構成する赤、緑、青のそれぞれの明るさをゲインと呼びます。これを調整することで、「白」の色調を変更することができます。

| **参考** |
| --- |
| • 「%」表示は調整の目安としてご利用ください。<br>• この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。<br>• 色温度の値に応じてゲインの値が変わります。<br>• ゲインの値を変更すると、色温度は「User」になります。 |

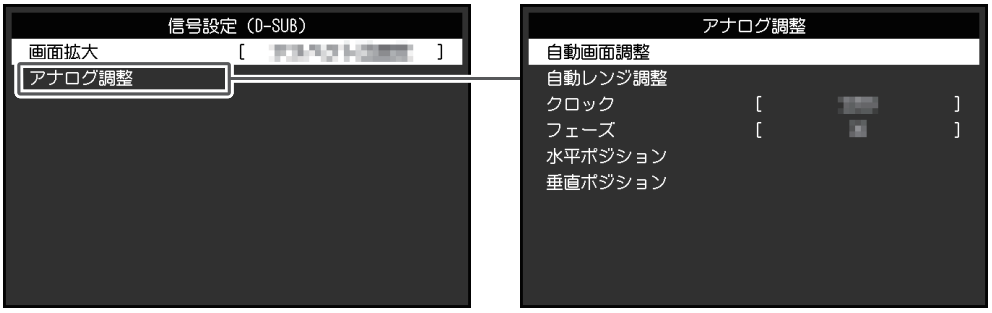
**リセット**

現在選択しているカラーモードのカラー調整値を初期設定に戻します。

### 3.2.2 信号設定

画面の表示サイズやカラーフォーマットなど、入力信号の詳細を設定します。

- D-Sub入力の場合




- DVI / DisplayPort™入力の場合




設定できる機能は、入力信号により異なります。

〇：設定可、－：設定不可

| 機能 | 入力信号 | | |
|---|---|---|---|
| | DisplayPort | DVI | D-SUB |
| 画面拡大 | 〇 | 〇 | 〇 |
| アナログ調整 | － | － | 〇 |

**画面拡大**

設定値：「フルスクリーン」/「アスペクト比固定」/「等倍」

モニター画面に表示するサイズを切り替えることができます。

- 「フルスクリーン」

  画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率は縦、横一定ではないため、表示画像に歪みが見られる場合があります。

- 「アスペクト比固定」

  画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率を縦、横一定にするため、水平、垂直のどちらかの方向に画像が表示されない部分が残る場合があります。

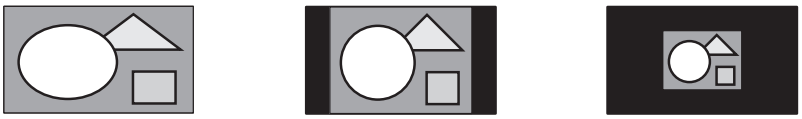
- 「等倍」

  設定した解像度のまま、または入力信号のままの大きさで画像が表示されます。

**参考**

・設定例

フルスクリーン　　アスペクト比固定　　等倍（入力信号）



・タッチパネルモニターとして使用する場合は、「フルスクリーン」に設定してください。

**アナログ調整 - 自動画面調整**

画面のちらつき、表示位置、サイズを自動調整することができます。「自動画面調整」を選択すると、メッセージが表示されますので、「はい」を選択してください。

**参考**

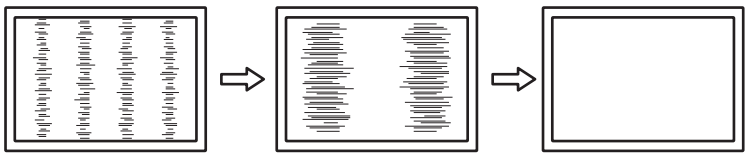
・自動画面調整機能は画面の表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。次のような場合には、正しく動作しません。
  – コマンドプロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合
  – 壁紙など背景を黒で使用している場合
    また、一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。

**アナログ調整 - 自動レンジ調整**

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調（0〜255）を表示できるように自動調整できます。「自動レンジ調整」を選択すると、メッセージが表示されますので、「はい」を選択してください。

**アナログ調整 - クロック**

画面の縦線や画面の一部に見られるちらつきを軽減できます。

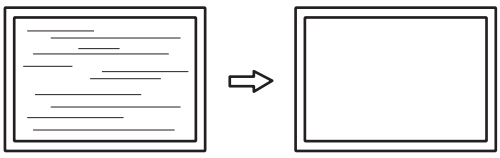


**参考**

・設定が合ったポイントを見逃しやすいので、細かく調整してください。

**アナログ調整 - フェーズ**

画面全体のちらつきやにじみを軽減できます。

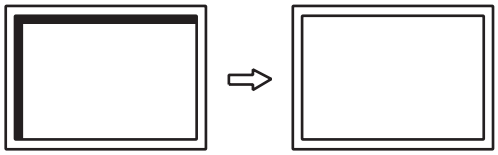


**参考**

- お使いのコンピュータやグラフィックスボードによっては、完全になくならないものがあります。
- 設定後、画面に縦縞が現れた場合は、再度「クロック」を調整してください。

**アナログ調整 - 水平ポジション / 垂直ポジション**

画面の表示位置（水平、垂直）を調整できます。

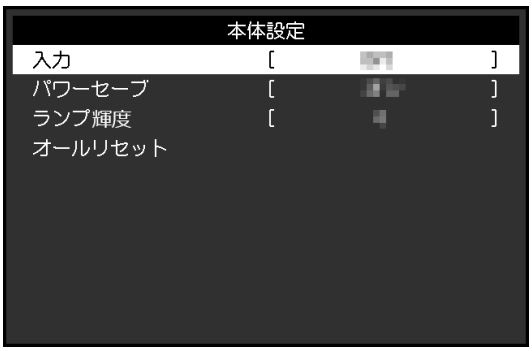


**参考**

- 液晶モニターは画素数および画素位置が固定であるため、画像の正しい表示位置は1箇所です。ポジション調整とは画像を正しい位置に移動するための調整です。

### 3.2.3 本体設定

使用環境やお好みに合わせて、モニター本体の設定をおこないます。




**入力**

設定値：「DVI」/「DisplayPort」/「D-SUB」

入力信号を選択します。

**パワーセーブ**

設定値：「オン」/「オフ」

コンピュータの状態と連動して、モニターを省電力モードにすることができます。

信号が入力されなくなったことを検出してから、約15秒後に省電力モードに移行します。

省電力モードに移行すると、画面が非表示になります。

- 省電力モードからの復帰方法
  - モニターに信号が入力される

| **参考** |
| --- |
| • 省電力モードの移行の5秒前になると、移行をお知らせするメッセージが表示されます。 |

**ランプ輝度**

設定値：「1」～「7」

操作ボタンおよび電源ボタンの明るさを設定することができます。（初期設定：4）

**オールリセット**

次の設定を除く、すべての設定内容を初期設定に戻します。

- 「管理者設定」メニュー内の設定
- 「本体設定」メニュー内の「入力」
- タッチパネルの有効 / 無効の設定

### 3.2.4 言語選択

設定値：「英語」/「ドイツ語」/「フランス語」/「スペイン語」/「イタリア語」/「スウェーデン語」/「日本語」/「簡体中国語」/「繁体中国語」

メニューやメッセージの表示言語を選択することができます。




### 3.2.5 インフォメーション

モニターの情報（製品名、製造番号（S/N）、ファームウェアバージョン、使用時間）と、入力信号の情報を確認できます。

例：

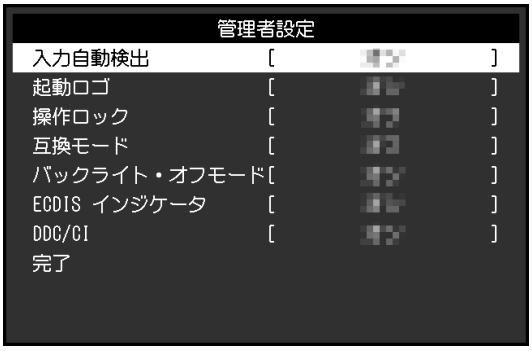


# 4 管理者向け設定

この章では、「管理者設定」メニューを使ってモニターの動作を設定する方法を説明します。

## 4.1 「管理者設定」メニューの基本操作方法

1. ⏻を5秒以上押して、モニターの電源を切ります。
2. ⮌を押しながら、⏻を2秒以上押してモニターの電源を入れます。
   「管理者設定」メニューが表示されます。

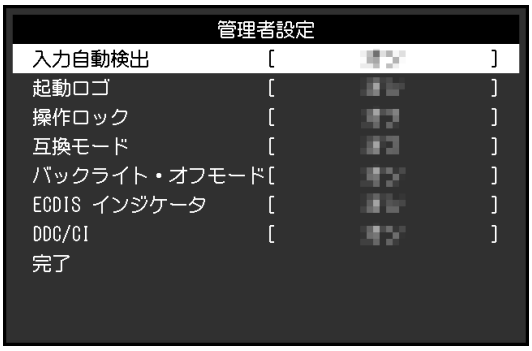



3. ◀ ▶で、設定したい項目を選択し、◉を押します。
   調整 / 設定メニューが表示されます。




4. ◀ ▶で、設定し、◉を押します。
   「管理者設定」メニューが表示されます。
5. 「完了」を選択し、◉を押します。
   設定が確定し、「管理者設定」メニューが終了します。

## 4.2 「管理者設定」メニューの各機能




**入力自動検出**

設定値：「オン」/「オフ」

信号が入力されているコネクタを自動的に判別して画面を表示することができます。

- 「オン」
  複数のコンピュータを接続している場合に、特定のコンピュータが省電力モードに入ったりモニターへの入力信号が失われたときは、信号が入力されている他のコネクタに自動的に切り替わります。
- 「オフ」
  入力信号の選択を手動でおこなう場合、この設定にします。

| **参考** |
| --- |
| • この機能が「オン」に設定されている場合は、すべてのコンピュータから信号が入力されなくなったときのみ、モニターの省電力機能が動作します。 |

**起動ロゴ**

設定値：「オン」/「オフ」

この製品の電源を入れると、画面にEIZOロゴが表示されます。

この機能を「オフ」に設定すると、EIZOロゴを非表示にすることができます。

**操作ロック**

設定値：「オフ」/「メニュー」/「オール」

設定した状態を変更できないように、モニター前面の操作ボタンをロックすることができます。

- 「オフ」（初期設定）
  すべてのボタンが有効です。
- 「メニュー」
  ◉ボタンをロックします。
- 「オール」
  電源ボタンを除くすべてのボタンをロックします。

| 参考 |
| --- |
| • ロックがかかっている状態で、ボタンを操作すると「操作ロック中」と画面に表示されます。 |

**互換モード**

設定値：「オン」 / 「オフ」

次の現象を回避したい場合は、この機能を「オン」に設定してください。

- モニターの電源をオフ / オンした場合や省電力モードからの復帰時に、ウィンドウやアイコンの位置がずれる。

**バックライト・オフモード**

設定値：「オン」 / 「オフ」

「オン」の場合、「ブリリアンス」を下限値にすると、バックライトが消灯し画面が真っ暗になります。（ただし、調整メニュー表示時、入力信号エラー表示時、EIZOロゴ表示時などを除く）

「Off」の場合、「ブリリアンス」を下限値にしても、画面は真っ暗になりません。

**ECDIS インジケータ**

設定値：「オン」 / 「オフ」

この機能を「オン」に設定すると、ECDISインジケータが点灯します。

| 参考 |
| --- |
| • ECDISインジケータは、次の場合は点灯しません。<br>– 「ECDIS インジケータ」：「オフ」時<br>– 「カラーモード」：「Custom」時<br>– モニターのブリリアンスがECDISの調整値からはずれている<br>– 正しい信号が入力されていない |

**DDC/CI**

設定値：「オン」 / 「オフ」

DDC/CI通信の有効 / 無効を切り替えます。

# 5 こんなときは

## 5.1 画面が表示されない場合

### すべての操作ボタンが点灯しない

- 電源コードは正しく接続されていますか。

### 電源ボタンのみが点灯：緑色

- ⏻を押してください。

### すべての操作ボタンが点灯：緑色

- 画面の明るさを調整してみてください（ブリリアンス [P. 11]参照）。
- 入力信号を切り替えてみてください（入力 [P. 16]参照）。
- 「管理者設定」メニューの「バックライト・オフモード」が「オン」になっている場合は、「オフ」に変更してみてください（バックライト・オフモード [P. 20]参照）。
- 「管理者設定」メニューの「互換モード」で、設定を「オン」にしてください（互換モード [P. 20]参照）。
- マウス、キーボードを操作してみてください。
- コンピュータの電源は入っていますか。
- タッチパネル面にタッチしてみてください（タッチパネル搭載モデルのみ）。

### 画面に「入力信号無し」のメッセージが表示される

例：




- コンピュータによっては電源を入れても信号がすぐに出力されないため、上のような画面が表示されることがあります。
- コンピュータの電源は入っていますか。
- 信号ケーブルは正しく接続されていますか。
- 入力信号を切り替えてみてください。
- 「管理者設定」メニューの「入力自動検出」の設定を「オフ」にして、手動で入力信号を切り替えてみてください（入力自動検出 [P. 19]参照）。

### 画面に「信号エラー」のメッセージが表示される

例：




- コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（7.3 対応解像度 [P. 31]参照）。
- コンピュータを再起動してみてください。
- グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な設定に変更してください。詳細はグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。

## 5.2 画面に関する症状（デジタル、アナログ共通）

### 画面が明るすぎる / 暗すぎる

- 設定メニューの「ブリリアンス」を調整してください（カラー調整 [P. 10]参照）。（液晶モニターのバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、お客様ご相談窓口にお問い合わせください。）

### 画面が突然暗くなった / 調整メニューの「ブリリアンス」の値を上げても画面が明るくならない

- この製品は常に本体内部の温度を監視しています。内部が高温になり、一定の温度を超えると、内部温度を下げるため、輝度を制限することがあります。この場合、制限以上の輝度に設定することができません。この状態は、内部の温度が下がると元に戻ります。本体内部の温度がさらに高くなった場合には、自動的にモニターの電源が切れます。

### 文字や画像がぼやけて見える

- コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（7.3 対応解像度 [P. 31]参照）。
- OSの拡大表示の設定を「100%」にしてみてください。複数のモニターを使用している場合は、すべてのモニターの拡大表示の設定を「100%」にしてみてください。

### 残像が現れる

- この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することをできるだけ避けることをお勧めします。
- 長時間同じ画像を表示する場合は、コンピュータのスクリーンセーバーやスリープ機能を使用してください。
- 表示する画像によっては、短い時間でも残像が見えることがあります。その場合、画像を変更したり、数時間電源を切った状態にすると、解消されることがあります。

### 画面に緑、赤、青、白のドットが残る / 点灯しないドットが残る

- これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。

### 画面上に干渉縞が見られる / 液晶パネルを押した跡が消えない

- 画面全体に白い画像または黒い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。

### 電源のオフ / オン時や省電力モードからの復帰時に、ウィンドウやアイコンの位置がずれる

- 「管理者設定」メニューの「互換モード」で、設定を「オン」にしてください（互換モード [P. 20]参照）。

### 画面全体に画像が表示されない

- 設定メニューの「画面拡大」を変更してみてください（画面拡大 [P. 13]参照）。
- コンピュータの解像度の設定がモニターの解像度と一致しているか確認してください。

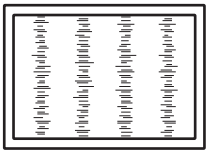
## 5.3 画面に関する症状（アナログのみ）

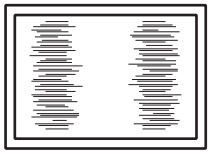
### 画面がずれている



- 設定メニューの「水平ポジション」「垂直ポジション」で画像の位置を合わせてください（アナログ調整 - 水平ポジション / 垂直ポジション [P. 15]参照）。
- グラフィックスボードのユーティリティなどに画像の位置を変える機能があれば、その機能を使用して調整してください。

### 画面に縦線が出ている / 画面の一部がちらついている





- 設定メニューの「クロック」で調整してみてください（アナログ調整 - クロック [P. 14]参照）。

### 画面全体がちらつく、にじむように見える

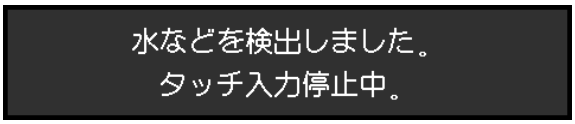


- 設定メニューの「フェーズ」で調整してみてください（アナログ調整 - フェーズ [P. 14]参照）。

## 5.4 タッチパネルに関する症状（タッチパネル搭載モデルのみ）

### タッチ操作が効かない

- モニターとコンピュータがUSBケーブルで接続されていることを確認してください。
- ⏎を押してみてください（2.1 タッチパネルの有効 / 無効を設定する（タッチパネル搭載モデルのみ） [P. 8]参照）。
- モニターおよびコンピュータの電源コードのアースが接地されていることを確認してください。アースが接地されていないと、誤動作の原因となることがあります。
- ⏎を長押ししてみてください（2.2 タッチ感度を調整する（タッチパネル搭載モデルのみ） [P. 8]参照）。
- TPOffsetを実行して、タッチパネルの感度を調整してみてください。
- この製品は、タッチパネル面に水滴や異物（スタイラス、スマートフォンなど）を検出した場合、誤動作を防ぐためにタッチ操作を自動的に無効化します（ウォーターディテクション機能）。次のメッセージが表示された場合は、タッチパネル面の水や異物を取り除き、しばらく待ってから再度操作してください。




### タッチ位置とカーソル位置がずれる / カーソルが飛ぶ

- 付属のケーブルでモニターとコンピュータを接続してください。変換アダプタなどを利用すると、タッチパネルが正しく動作しない場合があります。
- モニターの電源を入れ直してみてください。
- 専用のタッチパネルドライバを使用している場合は、タッチパネルドライバの取扱説明書を参照して、タッチ位置の補正を実行してください。
- モニターおよびコンピュータの電源コードのアースが接地されていることを確認してください。アースが接地されていないと、誤動作の原因となることがあります。
- ⏎を長押ししてみてください（2.2 タッチ感度を調整する（タッチパネル搭載モデルのみ） [P. 8]参照）。
- モニターの位置や角度を変更すると、カーソルが飛ぶ場合があります。
- タッチパネルの表示エリアの近くに金属などの誘電性の高いものが配置されていると、誤動作の原因となることがあります。タッチパネルの表示エリアと金属などは、少なくとも10 mm以上離して使用してください。

- タッチパネルが汚れていると、誤動作する場合があります。タッチパネル面のクリーニングをおこなってください（クリーニング [P. 4]参照）。
- タッチパネル面のクリーニングに帯電防止剤入りのクリーナを使用するとタッチパネルの感度に影響し、カーソル位置がずれる原因になることがあります。
- コンピュータやモニターの起動時、およびUSBケーブルの接続後、5秒間はタッチしないでください。カーソル位置がずれたり、タッチ操作が効かなくなる場合があります。その場合は、モニターの電源を入れ直したり、⏻を長押ししたりしてみてください。
- TPOffsetを実行して、タッチパネルの感度を調整してみてください。
- 設定メニューの「画面拡大」を「フルスクリーン」に設定してください。
- 推奨解像度以外で表示している場合、スケーリング機能の影響により、タッチ位置とカーソル位置がずれることがあります。グラフィックスボードのユーティリティで、モニターのスケーリングからグラフィックスボードでのスケーリングに変更してください。

### カーソルがタッチ位置に表示されず、モニターの中央を中心に点対称の位置に表示される

- 専用のタッチパネルドライバを使用している場合は、タッチパネルドライバの取扱説明書を参照して、タッチ位置の補正を実行してください。

### カーソルが揺れる / 描画線が安定しない

- モニターおよびコンピュータの電源コードのアースが接地されていることを確認してください。アースが接地されていないと、誤動作の原因となることがあります。
- TPOffsetを実行して、タッチパネルの感度を調整してみてください。
- タッチパネルの表示エリアの近くに金属などの誘電性の高いものが配置されていると、誤動作の原因となることがあります。タッチパネルの表示エリアと金属などは、少なくとも10 mm以上離して使用してください。
- 複数台のモニターを近接して設置している場合は、モニター間の間隔をあけて設置してください。

### タッチ位置の補正が正しく動作しない

- 専用のタッチパネルドライバを使用している場合は、タッチパネルドライバの取扱説明書を参照してください。

### タッチ音が鳴らない

- Windows 標準ドライバを使用している場合、タッチ音は鳴りません。タッチ音を鳴らす場合は専用のタッチパネルドライバを使用してください（セットアップマニュアル参照）。

### マルチタッチが動作しない

- コンピュータを再起動してみてください。
- 専用のタッチパネルドライバを使用している場合は、タッチパネルドライバの取扱説明書を参照してください。

## 5.5 その他の症状

### 設定メニューが表示できない

- 操作ボタンのロックが機能していないか確認してみてください（操作ロック [P. 19]参照）。

### マウスやキーボード操作をしてもコンピュータがスリープから復帰しない

- 「管理者設定」メニューの「互換モード」で、設定を「オン」にしてください（互換モード [P. 20]参照）。

# 6 メンテナンス

## 6.1 ブザー警告音の定期確認

- このモニターに搭載しているブザーは、システム側からの制御によりブザー警告音を鳴らすことができます。
- ブザー警告音が鳴ることを定期的に確認することをお勧めします。確認には、システム側からの制御を使用してください。

| **参考** |
| --- |
| • システム側からの制御の詳細は、別紙のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。 |

# 7 ご参考に

## 7.1 仕様

### 7.1.1 液晶パネル

| | | |
|---|---|---|
| バックライト | | LED |
| サイズ | | 19.0型（48.2 cm） |
| 解像度 | | 1280ドット×1024ライン |
| 表示面積（横×縦） | | 376.3 mm×301.1 mm |
| 画素ピッチ（横×縦） | | 0.294 mm×0.294 mm |
| 表示色 | | 8 bitカラー：1677万色 |
| 視野角（水平 / 垂直、標準値） | | 178° / 178° |
| 最大輝度（標準値） | | 350 cd/$m^2$（タッチパネル非搭載モデル）<br>340 cd/$m^2$（タッチパネル搭載モデル） |
| コントラスト比（標準値） | | 2000 : 1 |
| 応答速度（標準値） | 黒→白→黒 | 20 ms |

### 7.1.2 保護ガラス（タッチパネル非搭載モデル）

| | |
|---|---|
| 表面処理 | アンチリフレクション、アンチフィンガープリント |
| 表面硬度 | 5H |

### 7.1.3 タッチパネル（タッチパネル搭載モデル）

| | |
|---|---|
| 表面処理 | アンチグレア、アンチフィンガープリント |
| 表面硬度 | 5H |
| 通信手段 | USB転送 |
| 検出方式 | 投影型静電容量方式 |
| 対応OS※1 | Windows 11<br>Windows 10（32ビット版 / 64ビット版） |
| 同時タッチ点数 | 10点まで |

※1 OS提供元のサポート終了にともない、当社のサポートも終了します。

### 7.1.4 映像信号

| | | |
|---|---|---|
| 入力端子 | | DisplayPort（HDCP 1.3対応）×1、DVI-D（HDCP 1.4対応）×1、D-Sub15ピン（ミニ）×1 |
| デジタル走査周波数（水平 / 垂直 ※1） | DisplayPort、DVI-D | 31 kHz～76 kHz / 59 Hz～61 Hz、69 Hz～71 Hz（720×400のとき） |
| アナログ走査周波数（水平 / 垂直 ※1） | D-Sub | 31 kHz～81 kHz / 56 Hz～76 Hz |
| ドットクロック（最大） | DisplayPort、DVI-D | 110 MHz |
| | D-Sub | 136 MHz |
| 同期信号 | | H/Vセパレート、正/負極性 |

※1 解像度により対応可能な垂直走査周波数は異なります。詳細は、7.3 対応解像度 [P. 31]を参照してください。

### 7.1.5 通信

| | | |
|---|---|---|
| USB | ポート | USB-B（アップストリーム）×1 |
| | 規格 | USB Specification Rev.2.0 |
| RS-232C | ポート | D-Sub 9ピン（メス）×1 |

### 7.1.6 電源

| | | |
|---|---|---|
| 電源入力 | AC | 100 V - 240 V +10 % / -15 %、50 / 60 Hz、0.30 A - 0.20 A |
| | DC | 24 V +30 % / -10 %、1.15 A |
| 最大消費電力 | AC | 29 W以下 |
| | DC | 27 W以下 |
| 省電力時消費電力 | AC | 5 W以下※1 |
| | DC | 5 W以下※1 |
| 待機時消費電力 | AC | 5 W以下※1 |
| | DC | 5 W以下※1 |

※1 外部負荷非接続、製品初期設定

### 7.1.7 機構

| | |
|---|---|
| 外観寸法（幅×高さ×奥行） | 429.0 mm×406.0 mm×67.0 mm |
| 質量 | 約6.3 kg（タッチパネル非搭載モデル）<br>約6.9 kg（タッチパネル搭載モデル） |

### 7.1.8 動作環境条件

| | |
|---|---|
| 温度 | -15 ˚C～55 ˚C |
| 湿度 | 10 %～93 %（R.H.、結露なきこと） |
| 気圧 | 540 hPa～1060 hPa |

### 7.1.9 輸送 / 保存環境条件

| | |
|---|---|
| 温度 | -20 ˚C～60 ˚C |
| 湿度 | 10 %～93 %（R.H.、結露なきこと） |
| 気圧 | 540 hPa～1060 hPa |

### 7.1.10 視距離

| | |
|---|---|
| 視距離（推奨） | 1014 mm以上（IEC 62288に基づく） |

### 7.1.11 保護構造

| | |
|---|---|
| 前面 | IP65 |
| 裏面 | IP22 |

## 7.2 主な初期設定値

| | |
|---|---|
| ブリリアンス | Custom：100%<br>Day：79%<br>Dusk：64%<br>Night：41% |
| コントラスト | 100% |

## 7.3 対応解像度

この製品は次の解像度に対応しています。

〇：対応、－：非対応

| 解像度 | 垂直走査周波数（Hz） | DisplayPort | DVI | D-Sub |
|---|---|---|---|---|
| 640×480 | 59.940 | 〇 | 〇 | 〇 |
| 640×480 | 60.000 | 〇 | 〇 | 〇 |
| 640×480 | 72.809 | － | － | 〇 |
| 640×480 | 75.000 | － | － | 〇 |
| 720×400 | 70.087 | 〇 | 〇 | 〇 |
| 800×600 | 56.250 | － | － | 〇 |
| 800×600 | 60.317 | 〇 | 〇 | 〇 |
| 800×600 | 72.188 | － | － | 〇 |
| 800×600 | 75.000 | － | － | 〇 |
| 1024×768 | 60.004 | 〇 | 〇 | 〇 |
| 1024×768 | 70.069 | － | － | 〇 |
| 1024×768 | 75.029 | － | － | 〇 |
| 1280×960 | 60.000 | 〇 | 〇 | 〇 |
| 1280×1024※1 | 60.020 | 〇 | 〇 | 〇 |
| 1280×1024※1 | 75.025 | － | － | 〇 |

※1 推奨解像度です。

**参考**

・スキャン方式はプログレッシブにのみ対応しています。

# 付録

## 商標

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interfaceという語、HDMIのトレードドレスおよびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Incの商標または登録商標です。

DisplayPort、DisplayPortコンプライアンスロゴは、Video Electronics Standards Associationの米国およびその他の国における商標です。

SuperSpeed USB Trident LogoはUSB Implementers Forum, Inc.の登録商標です。



SuperSpeed USB Power Delivery Trident LogoはUSB Implementers Forum, Inc.の商標です。



USB Type-C、USB-CはUSB Implementers Forum, Incの登録商標です。

DICOMは、National Electrical Manufacturers Associationが所有する、医用情報のデジタル通信に関する規格の登録商標です。

Kensington、MicrosaverはACCO Brands Corporationの登録商標です。

ThunderboltはIntel Corporationの米国および/またはその他の国における商標です。

Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

AdobeはAdobe（アドビ）の米国およびその他の国における登録商標です。

Apple、macOS、Mac OS、OS X、Macintosh、ColorSyncはApple Inc.の商標です。

EIZO、EIZOロゴ、ColorEdge、CuratOR、DuraVision、FlexScan、FORIS、RadiCS、RadiForce、RadiNET、RaptorはEIZO株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。

ColorEdge Tablet Controller、ColorNavigator、EcoView NET、EIZO EasyPIX、EIZO Monitor Configurator、EIZO ScreenSlicer、G-Ignition、i・Sound、Quick Color Match、RadiLight、Re/Vue、SafeGuard、Screen Administrator、Screen InStyle、ScreenCleaner、UniColor Pro、ScreenManagerはEIZO株式会社の商標です。

その他の会社名、商品名およびロゴマークは所有者の商標または登録商標です。

## ライセンス

この製品に使用されているオープンソースソフトウェアのライセンス情報は www.eizoglobal.com/support/oss/に掲載されています。

この製品上で表示される文字には、リコーインダストリアルソリューションズ株式会社が制作したビットマップフォントを使用しています。

## 試験規格

この製品は、IEC60945 4thに準拠しています。
装置カテゴリー：b）風雨からの防護形

## 船級型式承認

この装置は、次の船級の型式承認を取得予定です。

- NK（日本海事協会）
- DNV（DNV船級協会）
- ABS（アメリカ船級協会）
- LR（ロイド船級協会）

※ 船級の取得状況については、当社Webサイトでご確認ください。
（www.eizo.co.jp）

## その他規格

この装置は、EU RO MR TAC（EU相互承認）を取得予定です。
※ 取得状況については、当社Webサイトでご確認ください。
（www.eizo.co.jp）

# アフターサービス

## 製品に関するお問い合わせ

製品の機能説明や操作方法に関するご相談を受け付けております。
お問い合わせの際は、事前に製品の取扱説明書やWebサイトのFAQ、互換性情報をご確認の上、下記Webサイトの問合せ窓口からご相談ください。
www.eizo.co.jp/support/product/inquiry/

## 修理に関するお問い合わせ

製品の修理に関するご相談を受け付けております。
修理をご希望の際は、下記Webサイトの修理申込みフォームからご依頼ください。
お申込みの混雑状況によっては、お時間をいただく場合がございますのでご了承ください。
www.eizo.co.jp/support/after/

## 製品回収、リサイクルシステムについて

パソコン及びパソコン用モニターは「資源有効利用促進法」の指定再資源化製品に指定されており、メーカーは自主回収及び再資源化に取り組むことが求められています。
当社製品は、一般社団法人「パソコン3R推進協会」が回収させていただきます。
回収を希望されるお客様は下記Webサイトからお申し込みください。
www.eizo.co.jp/support/recycle/
※ この製品は業務用途を意図した製品ですので、ご使用後廃棄される場合は有償となります。



00N0N724AZ
UM-MDS1901

Copyright © 2026 EIZO Corporation. All rights reserved.

1st Edition – June, 2026